

2019年4月15日

(一社) The Global Alliance for Sustainable Supply Chain (ASSC)

## IOM 主催「移民労働者のスキル向上と経済成長に関するグッドプラクティス」セミナー

弊団体、和田理事がバンコクにて IOM 主催、Swiss Agency for Development and Corporation SDC、IOM Development Fund 共催で開催された「移民労働者のスキル向上と経済成長に関するグッドプラクティス」セミナーに登壇をいたしました。

本セミナーは、東南アジアにおける移民労働に関する専門家を招聘して、優良事例を学び、移民労働者の労働条件やスキル向上が包括的な未来の経済成長につながることを理解できる重要な機会を提供することを目的としています。

「ASEAN 経済共同体 (AEC)ブループリント 2025」は、2015年11月の ASEAN 諸国首脳会議で採択され、公平で包括的な成長を特徴とした、統合的かつ結束力のある地域経済を創造することで、開発ギャップを狭め、貧困を削減し、世界のバリューチェーンを拡大することを可能にするという願いが込められています。これらの目標の達成は、技術革新、および、人的資源の開発を通じた、生産性の著しい向上を前提としています。また、これらはまた、将来の競争力と持続可能性を強化できるように「人と人とのつながり」の役割を強調した、ASEAN 議長国であるタイの目標でもあります。有能な労働力の安全で統治された流動性は、これらの目標の達成を促進し、そして東南アジアの一人一人のためにより良い未来をもたらすための有益な要素でもあります。

よって、本セミナーは、各国政府、地方自治体、雇用主、各国派遣業界団体、市民社会、企業団体、そして国際機関が取り組んでいる、目標に向けた行動についての議論、ならびに ASEAN における移民労働者に関わる質の向上とポジティブな影響を創造することを目的として開催されました。また、A「移民労働者の権利の保護と促進に関する合意」に明記されている優先事項に向けて進捗状況を解明するために、セミナーでは、人的資本開発へのアクセス向上、技能の循環、採用と雇用における移民労働者の権利保護、効果的な国際的職業紹介プロセスと、移住労働者のための優れた労働慣行を可能にする投資に関する議論がされました。各セッションでは、新たな革新的な能力開発、移民労働者の権利を守るパイロットアプローチ、ASEAN 地域以外の専門家からの意見を含む、ソリューションの提案など、参加者間の交流と協働機会を促進させるための議論や意見交換がなされました。

弊団体の和田理事は、セッションの中で、日本における技能実習制度や特定資格を通じて入国した外国人労働者（技能実習生を含む）に関して、労働環境と日本企業の活動を報告し、世界でも同様の課題があることから、ASSC が主催する外国人労働者ラウンドテーブルにて、議論と醸成がされつつある、グリーンバンスメカニズム、海外派遣事業者、国内受入監理団体などの情報サイトに関して、紹介と議論を展開しました。